

特集！陸上自衛隊第13普通科連隊

～松本駐屯地 長野県松本市～



(写真提供：陸上自衛隊第13普通科連隊)

目次

CONTENTS

- 1 特集！陸上自衛隊第13普通科連隊 ～松本駐屯地 長野県松本市～
- 2 北関東防衛局の役割について
- 3 第10回北関東防衛施設地方審議会
／防衛施設周辺地域の環境整備事業
- 4 小学生絵画展 i n あみ ～茨城県阿見町～
／基地周辺地域との交流 ～米空軍横田基地～
- 5 我が街紹介 ～千葉県柏市～
- 6 お知らせとお願い

平成29年3月

特集！陸上自衛隊第13普通科連隊

アルプスの山々に囲まれ！！

第13普通科連隊～松本駐屯地～の概要

第13普通科連隊が置かれる松本駐屯地が所在する長野県松本市は、日本列島のほぼ中央に位置し、青空に映る北アルプスの雄姿と爽やかな風がいつも迎えてくれる標高600メートルの高原の街で、気候は冷涼で年間を通じて晴天の日が多く、とても過ごしやすい所です。

松本駐屯地は、警察予備隊の発足直後に長野市、上田市、諏訪市、松本市の駐屯地候補地の間で激しい誘致合戦を繰り広げた末、松本市民の総意を背景に県や市により協議した結果、松本市誘致が決定、部隊の移駐が昭和25年11月から開始され、同年12月に各地から部隊が到着し、警察予備隊として創設されました。

その後、昭和29年7月防衛庁設置、自衛隊発足、同年9月第13普通科連隊が新編され、同連隊は昭和37年1月第12師団隷下の部隊に改編、平成13年3月第12師団は第12旅団に改編され現在に至っています。



松本駐屯地 正門前

第13普通科連隊の主な任務

第13普通科連隊は、空中機動や山地機動を主として様々な任務を遂行しています。また、日本唯一の「山岳レンジャー」の育成・練成に力を入れ御嶽山噴火災害派遣において実力を発揮しました。今後も部内外から信頼され地域に貢献する魅力ある部隊を目指すとともに、山岳部隊の伝統を継承しつつ、日々各種勤務・訓練等を行っていきます。

山岳部隊としての伝統の継承

松本市には、終戦まで山岳部隊と呼ばれた歩兵第50連隊が所在していました。

日露戦争末期の明治38年に編成された同連隊が山岳部隊の名を確立したのは、大正6年のことで、当時多数の人数で気象条件の悪い中を行軍するのは八甲田山での惨事以来避けられていましたが、連隊は慎重な準備を重ね部隊の半数（約800名）の規模で乗鞍岳、槍ヶ岳を縦走するという山地機動に踏み切り成功しました。以来、連隊は、山岳踏破訓練を伝統とし、山岳部隊の名を誇りました。この伝統は現在、松本山岳部隊として、第13普通科連隊の山岳レンジャー訓練や松本部隊の山地機動訓練に受け継がれています。



山地機動訓練



歩兵第50連隊の写真

第 13 普通科連隊の最近の主な活動

災害派遣活動



熊本地震で給水支援をする隊員

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震での活動では、約 1100 Km を約 24 時間で迅速に移動し、主に給水支援や給食支援などを行い被災者の方々に大変喜ばれました。

また、信州は雪が多いため雪害災害派遣活動にも従事しています。

冬季国体等の支援

今年 2 月に開催された第 72 回冬季国体（ながの銀嶺国体）のスキー競技会において第 13 普通科連隊は除雪支援、会場準備・撤収支援を実施し、冬季国体の円滑な運営に貢献しました。

過去にも第 13 普通科連隊は、平成 10 年の長野冬季オリンピックや平成 19 年に野沢温泉村で開催された冬季国体でも密接に協力を行っています。



会場準備支援をする隊員

地域との交流

国宝松本城太鼓まつり



松本アルプス太鼓

毎年、松本城において「国宝松本城太鼓まつり」が開催されています。昭和 47 年に松本駐屯地隊員により発足した「松本アルプス太鼓」は、腹に響き渡る迫力ある演奏で、特に家族連れに大人気で親近感を醸成しています。

開催については、毎年 4 月、7 月、10 月の 3 回行われていますが、雨天時は中止となる場合がありますので、ご注意ください。

松本駐屯地創設記念行事

毎年 4 月の第 3 土曜日に行われる松本駐屯地創設記念行事では、例年 1 万人を超える来場者があり、地域の方々から好評を博しています。

昨年は熊本地震による災害派遣活動に従事したため、やむなく記念行事を中止しましたが、本年は、4 月 15 日（土）に盛大に開催する予定です。多数の方のご来場を心よりお待ちしております。



記念行事 開門前の風景

北関東防衛局の役割について

北関東防衛局は、関東信越地方の内 1 都 7 県を管轄し、自衛隊及び在日米軍と地方公共団体や地域住民を繋ぐ「架け橋」とすると共に、防衛施設の建設や装備品の調達に係る監督・検査等の業務を行っています。

前号までに、当局の自衛隊・米軍と地域住民等を繋ぐ架け橋としての役割、防衛施設の建設工事や同工事等により取得した国有財産の適正な管理のための施策及び在日米軍による事件・事故への対応について紹介しました。

今号では、自衛隊の任務遂行に必要な防衛装備品の調達業務における監督・検査及び原価監査業務について紹介します



管轄区域図

防衛装備品の高度な性能を確保するための「監督」

監督は、防衛装備品の製造又は役務の請負契約の履行過程において、必要な立会、工程管理、材料・部品等の審査又は試験、細部設計書の審査・承認等の方法により、契約物品に対する要求事項が確実に具現されるよう様々な生産プロセスにおいて行うものであり、これによって、防衛装備品に求められる高度な機能・性能を確保しています。

防衛装備品の完成を確認するための「検査」

検査は、防衛装備品が部隊に配備されて以降、確実に高度な機能・性能を発揮することを目的として行われるもので、完成検査と受領検査に分けて実施しています。完成検査は、契約物品が納入場所に送られるのに先立ち、契約相手方の工場等において品質を確認するために行う検査で、契約物品が契約書、仕様書等の要求事項に合致するか否かを判定しています。

完成検査で合格と判定されると納入場所へ搬出されます。受領検査は、契約物品が納入場所に搬入された後、納入場所において、契約物品が契約書、仕様書等の要求事項に合致するか否かを判定するために行っています。



航空機用エンジンの完成検査



航法支援装置の完成検査

【当局の管轄内において製造・修理されている防衛装備品の一例】



救難捜索機 U-125A
出典：航空自衛隊 HP
(www.mod.go.jp/asdf/equipment/kyuunanki/U-125A/index.html)



07式機動支援橋
出典：陸上自衛隊 HP
(www.mod.go.jp/gsdf/equipment/ee/index.html)



戦闘ヘリコプター AH-64D
出典：陸上自衛隊 HP
(www.mod.go.jp/gsdf/equipment/ee/index.html)

防衛装備品についての費用の適正性を確保するための「原価監査」

原価監査は、契約相手方が契約の履行のために支出又は負担をした費用が原価として妥当であるか否かを審査し、契約代金を確定するものです。契約金額は、本来、契約締結時に確定されていることが原則ですが、防衛装備品には、仕様内容等が特殊なものがあり、契約の内容によっては、必ずしも契約当初に確定することができない場合に原価監査が行われます。原価監査の実施に当たっては、契約相手方から提出された実際原価に関する諸記録を綿密に調査し、製造現場における確認・担当者からの聴取を通じ、防衛装備品の費用の適正性を確認しています。

第 10 回北関東防衛施設地方審議会

陸上自衛隊立川駐屯地において開催

11月14日（月）、東京都立川市に所在する陸上自衛隊立川駐屯地において、第10回北関東防衛施設地方審議会が開催されました。

防衛施設地方審議会は、地方防衛局長の諮問に応じて自衛隊又は駐留軍の使用により不動産等に生じた損失の補償額等について調査審議し、必要と認める事項を地方防衛局長に建議するために地方防衛局に置かれる組織です。

審議会には、山本貢平会長ほか4名の委員と当局から平井局長ほか担当職員が出席し、会長挨拶、局長挨拶等の後、当局の担当者から周辺財産の利活用等について、また、立川駐屯地広報室長の山本3等陸佐からは立川駐屯地及び東部方面航空隊の概要、首都直下地震の対処について説明が行われました。

その後、自衛隊の活動に対する理解をより一層深めていただくため、審議会委員による装備品（OH-1、UH-1等）の見学等が行われました。



前列中央が山本会長、その向かって右側が東部方面航空隊長兼駐屯地司令の佐野1等陸佐、向かって左側が平井局長



防衛施設周辺地域の環境整備事業

防衛施設は、わが国の安全保障に欠くことのできないものです。しかしながら、航空機の騒音や演習場での訓練等で周辺地域に影響を及ぼす場合があります。そのため防衛施設と周辺地域との調和を図るため、防音工事の助成、住宅移転などへの補償、障害防止工事への助成、民生安定施設の整備への助成などの施策を行っています。

北浦小学校 ～茨城県行方市

本施設は、茨城県行方市が平成26年度から2ヶ年で建設工事を行い、同市北浦地区の津澄小学校、要小学校及び武田小学校の3つの小学校が統合した「行方市立北浦小学校」として、平成28年4月に新たに開校したものです。

当省は、百里飛行場周辺において、自衛隊機等の航空機による離陸、着陸等のひん繁な実施により生ずる音響で著しいものを防止又は軽減するために、学校等の防音工事の助成を行っており、この校舎では、防音サッシ、空気調和機器、全熱交換器、太陽光発電システム等の設置に係る費用を助成し、室内環境の改善を行うことにより教育効果の向上に寄与しています。



小学生絵画展 i n あみ ～茨城県阿見町～

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地で表彰式を開催

12月10日（土）、茨城県の陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地において、北関東防衛局主催による「小学生絵画展（わたしのまち絵画展）」の優秀作品の表彰式を行いました。

この小学生絵画展は、防衛施設周辺地域の地方公共団体が行っている学校等の防音工事や公園、道路、コミュニティセンター等の整備などのまちづくりに、防衛省が防衛施設周辺対策事業によって支援していることや自衛隊の活動の内容を地域の方々に知っていただき、理解していただくため、平成20年度から毎年1回開催しているもので、今年で9回目となります。

今回の開催にあたっては、茨城県阿見町の後援、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地の協力を得て、「私のまち（友達・家族）」をテーマに阿見町の小学校8校に作品を募集したところ、222点の応募があり、当局、阿見町及び霞ヶ浦駐屯地により、優秀作品を23点選考しました。

表彰式には、優秀作品に選ばれた児童とその保護者の方をお招きし、阿見町の天田町長、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地司令の金丸陸将が出席され、受賞者に平井北関東防衛局長から表彰状、池田北関東防衛局企画部長から記念品を授与しました。



表彰状授与



記念撮影



装備品見学1



装備品見学2



広報センター見学



公民館での絵画展示の様子

表彰式の後、受賞した児童及び保護者の皆さんは、霞ヶ浦駐屯地で、広報センターやヘリコプター等の装備品の見学を行いました。初めて間近で見る装備品に皆さん目を輝かせ、「非常に貴重な体験をさせていただきました」とのお言葉もいただきました。

応募作品222点は、12月16日までの間、阿見町中央公民館に自衛隊の活動写真や対策事業の写真と共に展示し、たくさんの方に鑑賞していただきました。

応募作品は、作品集として編集し、北関東防衛局ホームページでご覧になれます。

横田基地周辺地域との交流 ～東京都福生市～

横田基地有志によるボランティア活動

横田基地に所属する軍人、軍属等の有志と地域住民の方々による清掃活動などが毎年行われています。この活動は、横田基地の有志が、基地周辺の地域に貢献したいとの思いから、平成25年から実施されています。

今年度は市内の公園等で落ち葉やゴミ拾い、除草作業などが計6回行われ、横田基地の有志は地域への貢献に取り組みました。福生市の担当者は、公園の利用者の皆さんが気持ちよく利用できるよう、この活動が日米交流の場として定着することを望んでいますとのこと。

福東トモダチ公園の除草作業（平成28年9月）
福生市ホームページより

我が街紹介

～千葉県柏市～

東京都心から一番近い天然湖沼「手賀沼」

柏市は千葉県北西部、都心から約30km圏内に位置しています。中央部である柏駅周辺は、商業施設が集積し、JR常磐線・東武アーバンパークライン・国道6号・国道16号が交差する交通の要衝としてにぎわいを誇っています。また北部ではTX柏の葉キャンパス駅を中心とした新たな市街地形成が進むとともに、大学や研究所が多く存在しています。市政施行当初、人口5万人弱だった本市は、60年を経過した現在、40万人を超えるまでに発展しました。

そんな都心に近いまちでありながら、柏市には650haもの面積を有する「手賀沼」という貴重な水と緑の空間があります。手賀沼周辺は、豊かな自然環境と優れた景観を有するとともに、文化的・歴史的な資源が多数点在し、公園、遊歩道や自転車道も整備され、多くの人々が集い、憩い、交流する空間となっています。また、年間を通じて大小様々なイベントが開催されています。



手賀沼花火大会

毎年、手賀沼の夏の夜を彩る「手賀沼花火大会」は今年度で、27回目を迎えました。尺玉や水中花火、ウルトラジャンボスターマインのほか、ミュージック花火を打ち上げるなど、内容もさることながら、市民募金を通じた市民参加型の花火大会としても定着しています。当日は、柏市内はもとより市外からも来場があり、約41万人の観覧者で賑わいました。

秋はスポーツが盛んです。手賀沼をぐるりと1周するハーフマラソン「手賀沼エコマラソン」には毎年約1万人ものランナーが集います。また、クイズに答えながらウォーキングするなど、様々なコースが設定された「手賀沼ふれあいウォーク」は、世代を問わず人気です。



手賀沼エコマラソン

手賀沼の玄関口「道の駅しょうなん」



道の駅しょうなん

「道の駅しょうなん」は、都市部と手賀沼周辺地域を繋ぐ交流拠点として、手賀沼のほとりに位置し、うるおいとやすらぎのある空間のほかに、休憩・情報交流施設、農産物直売所やレストランが整備され、年間100万人を超

える利用者数を誇っています。また、全国で1,000を超える道の駅の中から、重点「道の駅」候補として、国土交通省から選定され、地域活性化の拠点としても期待されています。

本市では、この道の駅を手賀沼周辺地域の「エントランス」として機能させ、農業を主体としたまちづくりを目指すため、道の駅の拡張及び再整備、水上バス・周遊シャトルバスの運行や農家レストラン建設支援などを行い、手賀沼周辺地域全体の活性化に取り組んでいます。

文・写真とも柏市に寄稿いただきました

防衛施設周辺対策事業

本市の南部に、下総基地が立地していることから、基地との共存の中で、防衛補助を活用し、様々な施設整備を実施してきました。今年度は、民生安定施設整備事業の補助を受け、手賀エリアの地域コミュニティの核となる機能と災害発生後の地域住民の安全を確保する避難所の機能を併せ持つ近隣センターの整備を行っています。



コミュニティ施設完成イメージ

航空機へのレーザー照射は犯罪です

お知らせとお願い



【北関東防衛局 HP にバナーを掲載】

○近年、飛行場周辺等において、自衛隊機や米軍機を含む航空機に対するレーザー照射や風揚げといった危険な行為が相次いだことから、国土交通省が所管する航空法関係政省令の一部改正を行い、このような行為を規制対象とするとともに罰金等を科すこととなりました。

【航空法施行規則等の一部改正概要について（平成 28 年 12 月 21 日施行）】

1. 航空法施行規則の一部改正
「航空法第 99 条の 2 の規制対象行為として、進入表面上空空域等を飛行する航空機に向かってレーザー光を照射すること及び同空域等に風を揚げることを追加」
2. 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定及び日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う航空法の特例に関する法律施行令の一部改正
「アメリカ合衆国軍隊の航空機等の飛行に影響を及ぼすおそれのある行為について航空法 99 条の 2 の適用対象」

【航空法の規定による罰金等】

【航空法（昭和 27 年 7 月 15 日法律第 231 号）】

（技能証明書を携帯しない等の罪）

第 150 条 次の各号のいずれかに該当する者は、50 万円以下の罰金に処する。

十 第 99 条の 2 第 1 項の規定に違反して、航空機の飛行に影響を及ぼすおそれのある行為で同項の国土交通省令で定めるものをした者

（過料）

第 161 条 次の各号の一に該当する者は、30 万円以下の過料に処する。

三 第 99 条の 2 第 2 項の規定による通報をせず、又は虚偽の通報をした者

【その他の罰金等】

- ・刑法の威力業務妨害罪に該当する場合は 3 年以下の懲役又は 50 万円以下の罰金。
- ・航空危険行為処罰法の航空危険罪に該当する場合は、3 年以上の有期懲役。

「なお、平成 27 年 12 月及び平成 28 年 11 月に威力業務妨害罪で逮捕実績あり」

【北関東防衛局からのお願い】

自衛隊機・米軍機等に対するレーザー照射による妨害行為を行っている人を見かけた方は、110 番通報をお願いいたします。

（参考）

航空法（昭和 27 年 7 月 15 日法律第 231 号）

（飛行に影響を及ぼすおそれのある行為）

第 99 条の 2 何人も、航空交通管制圏、航空交通情報圏、高度変更禁止空域又は航空交通管制区内の特別管制空域における航空機の飛行に影響を及ぼすおそれのあるロケットの打上げその他の行為（物件の設置及び植栽を除く。）で国土交通省令で定めるものをしてはならない。ただし、国土交通大臣が、当該行為について、航空機の飛行に影響を及ぼすおそれがないものであると認め、又は公益上必要やむを得ず、かつ、一時的なものであると認めて許可をした場合は、この限りでない。

- 2 前項の空域以外の空域における航空機の飛行に影響を及ぼすおそれのある行為（物件の設置及び植栽を除く。）で国土交通省令で定めるものをしようとする者は、国土交通省令で定めるところにより、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に通報しなければならない。

★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html

北関東防衛局広報

検索